

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年9月12日（契約日）～ 令和2年2月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回

### ⑥総評

#### ◇特に評価の高い点

- ・業務効率向上の為、ワークシェアリングができる体制構築に取り組んでいます。これにより、有給休暇取得時の担当業務の事前割振りがスムーズになったことで、有給休暇を取りやすい環境が実現できています。
- ・職員採用の際のアピール材料として、職員の写真や担当業務、趣味などを書いた「職員間の人間関係の絆の模式図」を作成することで職場の雰囲気の前もって分かる工夫をしています。これが職員定着年数12年に繋がっているとのこと。
- ・積極的に実習生を受け入れ、実習生と指導職員とが双方に育ち学び合える実習の機会とすべく、管理者、先輩職員は指導職員に対して適切なアドバイスや指導に心がけています。

#### ◇改善を求められる点

- ・職員の外部研修参加にバラツキがあるようです。各職員の参加状況を把握、管理することで、まんべんなく研修に参加できる機会の提供を期待します。
- ・プライバシー保護に関する規定やマニュアルを設け、日々の保育の場で配慮する取組が行われていますが、さらに職員が意識を持てるような工夫を期待します。
- ・保護者からの相談や意見へは、迅速な対応に取り組んでいるとのことですが、改善策等への取組が不十分なようです。今後は組織的に一連の対応ができる仕組みづくりを期待します。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

全職員が参加して取り組む事ができた、園が継続していきたい良い面や改善していかねばならない点が明確になり今後に活かせる取り組みとなった。  
理念や基本方針について改めて話し合う事で、職員間の保育の方向性の再確認ができた。

### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。